

令和6年度 病害虫発生予察注意報 第3号 (一部抜粋)

令和6年7月17日
千葉県農林総合研究センター長

オオタバコガの多発生に注意

1. 注意報の内容

- (1) 対象作物及び病害虫名：野菜（特に果菜類）・花き類、オオタバコガ
- (2) 発生地域：県内全域
- (3) 発生量：多



写真1 幼虫とミニトマト果実の食害痕
(穴をあけ、内部を食害する)



写真2 トマトの葉上の卵
(卵塊ではなく、1個ずつ産卵される)

2. 防除対策

- (1) ほ場をよく観察し、食害痕や糞の近くに幼虫がいる可能性が高いので、見つけ次第、除去する。特に、新芽や花蕾には卵や若齢幼虫がいることが多いので、摘心した側枝や蕾はほ場外に持ち出し処分する。
- (2) 老齢になるに従って薬剤の効果が低下するので、ほ場の見回り等による早期発見に努め、若齢幼虫のうちに薬剤散布等により防除する。
- (3) 施設栽培では施設開口部に防虫ネットを設置して、成虫の侵入を防ぐ。
- (4) 防蛾用黄色灯の夜間点灯を行う。

3. 注意事項

- (1) 幼虫は、トマト、ナス等の果実内部、キャベツ、レタス等の結球内部、トウモロコシの若い穂、花き類の頂芽や蕾内部を食害する。
- (2) 9月以降も発生の多い状況が維持されることが予想されるため、レタス等でも注意が必要である。
- (3) 農薬の使用にあたっては、最新の農薬登録情報を確認し、製品ラベルに記載された使用基準等を守り適正に使用する。
- (4) 害虫の薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。